



▲国の「重点港湾」に選定された東予港（写真：東予港西条地区）

「西条パワー」を生み出す 様々なつながり

そうした道のりに思いを馳せますと「つなぐ」こと「つながる」ことが「西条パワー」の大きな源となり、様々なまちづくりの成果が生み出されていることを、改めて強く実感いたします。

また、都市間交流の拡大とともに、地域課題の広域化が進む中、都市間連携で地域課題の解決に取り組み、圏域全体の道路をはじめとする社会資本整備の充実と活性化につなげることも、重要なテーマとなっております。

特に、円高の進行等によりまして、我が国のものづくり産業が衰退の危機に瀕している中、東予地域で総額1兆8300億円超の製造品出荷額を生み出す、ものづくり産業の一大バ

ト地帯に位置する当市にとりまして、新居浜市と四国中央市とのつながり、つまり「三極連携」をもって、圏域内のものでづくり産業の安定と活性化に取り組むことが、喫緊の課題となっております。

新年度のキャッチフレーズは 『つなぐ・つながる』

そこで、新年度の市政の推進に当たりますと、「つなぐ・つながる」をキャッチフレーズに掲げまして、これまでに築かれた、様々な主体のネットワークを今後も大切にしながら、人、組織、知識、技術、そして地域資源等をさらに結び合わせていくことにより、「チーム西条」が一丸となり、「都市の自立と活力の喚起」「都市の個性の創出と創造力の発揮」「都市間の交流と連携の強化」を政策の基本理念に据えまして、自己責任と自己決定の原則を貫徹しながら、さらなるチャレンジと創造の精神をもって、「人がつどい、まちが輝く、快適環境実感都市」の実現につなげてまいります。

その一方で、先取の精神と先見の明をもって、郷土の発展に尽くされた先人の方々のつながりの上に、今日の当市の成長があることを肝に銘じまして、私たちが受け継いでいる歴史文化や伝統、そして食、地域資源をしっかりと守り、次の世代へ伝える努力を怠ることなく、様々な地域課題の解決に

積極果敢に取り組んでまいります。

また、国が「新成長戦略」を推進して「強い経済」の実現をめざしている中、国策と連動した政策を迅速に展開し、地域経済の活性化につなげるため、「三極連携」の下、規制緩和やインフラ整備等の推進方策も、鋭意検討してまいります。

新年度施策の主な内容

健康で幸せな暮らしの実現

◆高齢者福祉の充実

高齢者の社会参加と生きがいづくりを支援するとともに、介護予防・介護サービスの充実を図ります。

◆地域福祉の充実

障害者の自立を支援し、障害者が住みなれた地域で安心して生活ができるよう、きめ細かな福祉サービスの拡充を図ります。

また、民生児童委員やボランティア団体等との連携を図りながら、地域全体で支えあう地域福祉の推進に努めます。

◆市民の健康づくり

平成22年度を初年度とする「西条市食育推進計画」に基づき、食育を市民運動として推進するとともに、各種が

ん検診や保健事業を積極的に展開して市民の皆様の健康づくりを支援します。

◆地域医療体制の充実

市立周桑病院の健全な管理運営を図るとともに、医師不足問題の解決に向け、国への働きかけを一層強めます。

また、休日・夜間における医療サービスを充実させるため、休日夜間急患センターの整備に取り組みます。

◆子育て環境の充実

3歳児未満が増額となる子ども手当に加え、市独自の上乗せ助成として継続実施する、就学前児童に対する医療費の完全無料化など、子育て世帯の経済的な負担軽減を図るとともに、各種保育サービスの充実支援や、放課後における児童の健全育成事業等に、引き続き取り組みます。

豊かな自然環境を 実感できるまちづくり

◆環境資源を活かした地域づくり

当市の貴重な資源である「水」を活かしたまちづくりを進め、一人一人が水資源の保全に取り組むしくみづくりに努めます。

◆新エネルギー設備の導入

環境負荷の少ない地域社会の形成に向けて、住宅用太陽光発電システムの設定に対する助成を継続するなど、市民、企業、行政が一体となった新エネルギー設備の導入を図ります。